

## 2018（平成30）年度 第2次補正予算概要の説明

本年度補正予算については、2018（平成30年）12月18日の理事会・評議員会でご承認いただきました。しかし、その後、追加の予算措置をしなければならない支出が生じました。緊急時の対応のために予備費（50百万円）を計上していますが、今回は予備費を超える規模となるため、第2次の補正予算を編成させていただきたくお願い申し上げます。

また、収入の部で入学検定料、国庫補助金及び退職金財団交付金の補正を行いました。なお、金額の表記は百万円単位とし、10万円台を四捨五入します。

### ●資金収支予算書について

#### 【資金収入の部】

##### ◎手数料収入

入学試験の実績を踏まえて検定料収入を15百万円増額補正。

##### ◎補助金収入

経常費補助金が教育研究経費執行率に係る増減率が改善したことにより28百万円増額補正。

##### ◎雑収入

退職金支出増加に伴い退職金財団交付金が増加するため50百万円増額補正。

#### 【資金支出の部】

##### ① 退職金支出の確定

退職者増により53百万円増額補正

##### ② DAC 開設準備に伴う支出

開設準備にかかる調査及びデータ処理により8百万円増額補正。

##### ③ 地域人材育成教育寮に伴う支出

地域人材育成入試合格者の教育寮準備により1百万円増額補正。

##### ④ 地域貢献活動充実に伴う支出

本学学生の巣鴨地域での地域貢献活動充実を図るために、協働する一社）コンソーシアムすがも花街道への運営助成金として20百万円増額補正。

以上支出合計82百万円です。

収入・支出を相殺した結果11百万円の収入増となり、次年度繰越支払資金は1,980百万円になります。

### ●事業活動収支予算書について

#### 【事業活動収入の部】

資金収支予算書と同額です。

#### 【事業活動支出の部】

ほぼ資金収支予算書と同額ですが、人件費の退職給与引当金繰入額は私立大学退職金財団の掛金及び交付金に基づき算出するため金額が相違しています。

#### 【基本金組入前当年度収支差額】

以上の結果、平成30年度収支は15百万円増加し202百万円の黒字です。